

Voices

ヴォーリスだより



- 特集 -

訪問看護ステーションの一日

(撮影者) システム室 林 徹夫
(撮影場所) ホスピス「希望館」

巻頭言

「今 思うこと」

公益財団法人 近江兄弟社
ヴォーリス記念病院
脳神経外科部長 深見 方博



Vol. 152

2021年9月発行

基本理念

キリスト教の「隣人愛」と「奉仕」の業を、医療を通して実践します。
— 私たちは、基本理念を大切にします。 —



「今 思うこと」



脳神経外科部長 深見 方博

梅雨が明けてから例年通り一気に暑くなり、熱中症が急増していますが対策は十分ですか？電気代は二の次です、エアコンを遠慮せずに使いましょう。

オリンピックが始まって予想通りコロナは急増する一方ですね。7月31日夜の発表では全国の新規感染者数は12,338人で死亡者数も15,193人、重症者数は667人になりました。東京都はついに4,000人超えで首都圏は軒並み過去最高を更新、関西でも大阪だけでなく他の1府5県も増加しており、しばらくは増加すると考えられます。国や自治体がいくら緊急事態宣言を延長・発令したところで、毎日のニュースで映像（特に東京や大阪）を見る限り、どこにも危機感はなく、宣言がすでに形骸化しているということでしょう。ラ コリーナにも他府県ナンバーが多くなっており、特に大阪やなにわが目立ちますが、知事達が県を跨ぐ往来は…と叫んでも聞こえないようです。京都駅でもキャリーバッグを引っ張っている人達が増え、夏休みも重なって子供連れや若者の集団が目立ちますね。これでは増えては仕方ないのですが、飲食店ばかりが悪者扱いされるのはあまりにも一方的と言えるし、日本はとにかく「お願い」ばかりで、外国のように「ロックダウン」強力な指令が出せないのでは、全く「打つ手なし」の状態で、また「医療現場の逼迫」は避けられないと思います。

令和2年3月5日に、滋賀県で初めての感染報告以来、当院では幸いにも院内での発生はなく何とか切り抜けてきましたが、まだまだ油断はできません。発熱者には抗原検査を行い、院長は週に2回汗だくでPCR検査を続けてきました。一時は陽性者は出ませんでしたでしたが最近はお出てきており、毎日が緊張の連続です。

コロナの話になるときりがないので話題を変えます。私が当院に赴任して4年目ですが、当院の役割はこの地域においては、総合医療センターとの連携を軸に地域医療に貢献できることを目標にしており、特に訪問診療は対象患者数も増加して蒲生や能登川など遠方にも出かけております。この時期になると食事量が減って動けなくなる患者さんも多くなり、できる限りの対応をしたいと思います、ベッドが追いつかない場合もあり現場は戦場です。

最後に、私は子供の時から虫が大好きでして、初めて来た頃に医局の向かいにある木に何とタマムシが飛んでいるのをみて大感激！クワガタやカブトムシもいて、当院は虫好きにはたまら～ん環境で仕事の疲れも解消されています。

以上、内容は「巻頭言」にふさわしくない文章か全く自信ありませんが、オリンピックでの選手たちに感動をもらいながら、とにかくこのコロナ禍を乗り切っていくしかないと考えます。

チャブレンだより⑭ バトンリレー

チャブレン 中村信雄

近江兄弟社ひかり園で種から育ててくださった花の苗をたくさんいただきました。マリーゴールド、ナデシコ、サルビア、アスター。それらの苗をボランティアさんが病院の花壇に植えてくださいました。みんなで水遣りをして大切に育てています。



「子どもたちに感謝の気持ちを届けたい。」そう思い親友6名に相談しました。約1週間後、愛媛から大きな段ボール箱が届きました。箱の中は折り紙の作品でいっぱいでした。トトロ、カブトムシ、クワガタ、トンボ、蝶、蝉、リボン、そして夏の色紙（金魚鉢に泳ぐ金魚、風鈴、朝顔等の折り紙）が入っていました。

早速、ひかり園に届けました。職員会議を終えたばかりの先生方が笑顔でした。子どもたちの喜ぶ姿が目に見えたのでしょう。

バトンは小さな手からたくさんの人たちの手に渡り、今、皆さんの手にも渡りました。花壇を彩る花々をゆっくりと眺めていただき、そこに込められた愛を感じとっていただければ幸いです。



部署紹介

看護部「地域看護科」

地域看護科師長 湊 愛子
吉崎 直美

2021年4月新体制として、看護部外来から看護部地域看護科と改名してスタートし、外来患者支援業務と地域療養支援業務を統合しています。

今まで通りの外来業務として外来通院患者の状況確認・相談・在宅療養指導、診療の補助・一般検査・内視鏡検査の業務・手術に関する業務を行っています。

今年度からは地域で生活して頂く事を支えるために、訪問診療の情報収集・同行訪問・退院後訪問、入院オリエンテーションなどを行っています。その中で看護は、外来診療の補助だけでなく、地域の患者さんの窓口となって暮らしを見守らなければなりません。通院治療を続けながら自分らしく在宅で過ごせるための支援を、これまで以上に求められています。患者さんが在宅療養での困り事の相談や、病気の症状の早期発見などのサポートを充実させることは早期のケア介入となり、入院せずに住み慣れた家で当たり前の日常が継続できる支援になります。また、病状の悪化などで在宅療養が難しいという判断時には、スムーズに院内外他職種と連携して入院治療に繋ぎ、生活の再構築を図る必要があります。

患者・家族様がヴォーリス記念病院で良かったと感じて頂けるように、地域看護を提供できるよう努めていきます。



特集

訪問看護ステーションの一日

訪問看護ステーションヴォーリス 曾我 菜穂子

訪問看護ステーションヴォーリスは、ヴォーリス医療、保健、福祉の里の中の在宅サービス部門に位置付けられており、現在は看護師17名、理学療法士（非常勤）3名、事務職員2名のスタッフが在籍し、主に近江八幡市内、竜王町を訪問しています。

訪問していると時々「夜勤はしているの？」とか「一日何件くらい行くの？」と聞かれることがあるので、今回は訪問看護ステーションの一日の流れをお伝えしたいと思います。

●● 訪問看護の一日 ●●

8:30～

おはようございます。朝のミーティングです。

所長からの伝達事項、前日からの申し送り、新しい利用者様の紹介などを行います。定期的にヴォーリス記念病院ホスピスや訪問リハビリ、地域療養支援部とのカンファレンスを行い、緊密な連携を図っています。



9:00頃～

午前の訪問に出発します。

一日の訪問件数は概ね午前2件、午後2件です。到着後、利用者様の血圧や体温などのチェックを行い、体調に変化がないか確認します。状態に合わせて必要なケアや処置、介護指導を行います。場合によっては介護者様からの相談を受けることもあります。

12:00頃～

午前中の訪問を終え、ステーションに戻ってきます。

状態を報告して、訪問の記録をし、必要があれば主治医やケアマネジャーにも連絡します。それが終わりましたらお昼休憩を取ります。

13:20頃～

午後の訪問に出発します。



16:00頃～

午後の訪問を終え、ステーションに戻ってきます。

報告、記録、連絡を行うのは午前と同じです。

17:15

お疲れさまでした。業務終了後それぞれ帰宅します。

これ以降は当番制で緊急対応用の携帯電話を持って夜間や緊急時に備えます。

いかがでしたか？訪問看護の一日の大まかな流れがお分かりいただけたでしょうか？

ただ、私たちは病院や施設の看護とは違って、常に利用者様のそばにいたわけではありません。だからこそ、その先の変化を予測し、様々な職種の方々と連携を取りながら、利用者様や介護者様が安心して、住み慣れた環境で生活して頂けるようお手伝いをします。

「やっぱり我が家がいちばん」…その想いにお応えできるように、これからも日々努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

薬剤師による在宅訪問のご紹介

薬剤師 新庄 安宏

“在宅医療”というと、医師が訪問して診察したり看護師が在宅で血圧や脈拍を測ったりするイメージを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？在宅での治療には飲み薬や貼り薬のほかに注射薬を使用することもあるため、実は薬剤師も在宅訪問をしています。とはいえ、薬剤師はただ単に“薬を持ってきてくれる人”というわけではありません。

当院の緩和ケア病棟では主にがんの終末期の患者さんのケアを行っておりますが、これまでは「病院にいたほうが安心」と思われていたケースでも、新規感染症の中で「子供や孫に面会できないなら自宅で過ごしたい」と考える患者さんが増えています。緩和ケアでは、患者さんの痛みを和らげる目的で医療用麻薬を使用しますが、自宅へ退院される場合に、病棟で薬の管理を担っていた薬剤師がそのまま在宅訪問することで、病院にいるときと同じように、主治医や看護師とスムーズに連携して薬を調節することができます。病院では多数の医療用麻薬を取り扱っていますので、急に注射薬が必要になっても対応することができます。他にも栄養源となる高カロリー輸液も取り扱っており、患者宅へ届けて栄養や水分量に問題がないかチェックしています。また、最近では在宅褥瘡チームとして薬剤師も同行し、医薬品の供給や管理に携わっています。

当院では薬剤師が在宅訪問することで、病院にいるときと同じような環境で過ごしていただくことを目指して在宅医療に取り組んでおります。



出前講座を開催しました！

企画渉外課

7月17日(土) 近江八幡市内の老人クラブ連合会の皆様に、当院出前講座を開催しました。

(講師) 認知症看護認定看護師 丸山 理子(マルヤマ サトコ)氏

(演題) 認知症と生活習慣病 – 予防と治療 –

※近江八幡市役所 長寿福祉課 保健師の北川 麻美さんにもご協力頂き、市の取り組みや相談窓口のご案内と、コグニサイズという認知症予防の運動をご紹介頂きました。

和やかな雰囲気の中、自分らしく健康で長く過ごせるよう生活習慣や認知症について学びました。参加者の皆さんのアンケートから、健康について学ぶ機会を望んでおられることが分かりました。

出前講座では、当院医療スタッフが地域に出向き、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などをご紹介します。地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。

是非ご利用下さい。(お申込みは、広報誌裏面をご参照ください。)

関心のあるテーマ BEST 5

- 1位 生活習慣病
- 2位 食事・栄養
- 3位 認知症
- 4位 運動・体操
- 5位 健康

(当日のアンケート結果)



びわ湖八幡ロータリークラブ様より寄贈頂きました。

6月29日、びわ湖八幡ロータリークラブ様より、医療機器を寄贈頂きました。コロナ渦の最前線で地域医療に従事する当院へ感謝と応援の気持ちを届けて下さいました。



●寄贈品

- ①体温測定とマスクの着用を確認する専用
スタンド付き A I 測温PAD 1 台
- ②電動昇降式診療ベッド2台
極低床フロアーベッド1台



介護が必要な人や身体を動かすのが大変な方にとって、ボタン一つでベッドの高さを変えられ、より容易に立ち上がることができます。また、サービスを提供するスタッフにとっても負担が減ることで安全な診療が可能となります。ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

診療技術部長 酒井 英志

管理栄養士ようちゃん
おススメ！

毎日の便通を快適にするためには??

腸は生命維持に関わる大切な器官です。栄養分や水分を吸収するだけでなく細菌やウイルスの体への侵入を防ぎ、不要なものを便として体外に排出する役割を持ちます。

腸を正常な状態に整えることは毎日の健康を作る一つの鍵とも言えます。

「腸を整えて便通を正常化する3つのポイント」

重要な 栄養の摂取



積極的な食物繊維の摂取が「便を出せる体」につながります。

便の固形成分の約30%は消化できなかった食物の残りです。ほとんどの食物が消化されてしまう中で大腸まで届くのが「食物繊維」です。便は腸に一定以上の量が溜まると排泄しようとする運動が生まれます。積極的な食物繊維の摂取は便を貯めて毎日のお通じを習慣化してくれます。

生活習慣 の改善



①規則的な排便習慣

生活の中で排便ができる時間を決めて規則的な排便周期を体に覚えさせます。

②十分な睡眠

睡眠不足やストレスは腸の運動に異常をきたす原因になります。

③しっかりと食事を摂る

規則的な食事は便通を促すために重要です。1日3食を基本として量もできるだけ均等にバランスよく摂取しましょう。

毎日の 適切な運動



運動は自律神経のバランスを整え、腸の働きや動きを整える効果があります。
オススメは1日30分のウォーキング！！

正しい姿勢であることで自律神経を整えるだけでなく、腹筋など腸周辺の筋肉を使うため、腸の動きを助けます。

医師紹介

緩和ケア科

江頭 真理子 (えがしら まりこ)



【経歴】 平成2年 佐賀医科大学 卒業

【専門】 緩和ケア

【ひとこと】

学生時代に聖隷三方原病院ホスピス長の原義雄先生の講演を契機に、緩和ケアの道に進むことにしました。ペインコントロールを極めるために麻酔・蘇生科入局。1994～96年、近代緩和ケア発祥の地英国に留学。英国で学んだことを基礎に、国民性の違う日本流にどうアレンジするかを試行錯誤し続けた20年でした。2019年、臨床仏教師を目指して滋賀に移住。ヴォーリス記念病院とのご縁を頂きました。コロナ禍に翻弄されながらようやく資格取得しました。

今後は患者様のこころのケアに役立てるばかりでなく、地域の方々にも還元できるような繋がりを作っていければと望んでおります。僧侶兼医師として親しみを感じていただけたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほっとひといきコーナー

ヴォーリス 昆虫記

「ヤマユガ4種」

医師 前田 憲吾

普段見ている蛾は、大きくても前翅長 3cm ほどですが、ヤマユガの種類は非常に大きいことが知られています。本邦最大級はヨナグニサンですが、沖縄地方に限られています。

それに次ぐのはシンジュサンです。守山市の普段から探索している公園で偶然出会いました。こんなに大きくて目立つ柄をしているのに、横を散策する人々は気付いていません。

ヤマユ、ヒメヤマユ、オオミズアオは大津市葛川で撮影しました。これらは言わば「蛾の王様」のようなもので、特にシンジュサンには圧倒されました。

オオミズアオ



シンジュサン



ヒメヤマユ



ヤマユ



病院からの お知らせ

◆糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで偶数月に糖尿病、生活習慣病に関して、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日時 2021年10月28日（木） 11：30～12：30

場所 新館研修室（病院内）（※時間変更の場合あり）

講師 理学療法士

※主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申込みが必要です。

※新型コロナウイルス感染予防の観点から、食事は当面の間中止致します。



ヴォーリス記念病院「出前講座」

当院では、「地域の皆さまの健康生活に貢献できる病院」の一環として、当院医療スタッフが地域に出向いて、医療や健康に役立つ専門的知識・技術などをご紹介します。地域の皆さまの健康保持増進や疾病予防などのお役に立てればと願っております。ぜひご利用ください。

<講座の内容>

- **病気や治療**について
（生活習慣病、認知症など）
- **在宅医療**について
- **健康生活**について
（運動、食事、薬の知識など）
- **終末医療、ホスピス**について・・・など

＊ ＊ご希望に合わせて、内容はご相談に応じます＊ ＊

<対 象> 近江八幡市内の地域住民による団体、グループ、学校など
（※職場研修は実施していません。）

<費 用> **無料**です。

<開 催 日 時> 日、祝日を除く、9：00～17：00

<申込み方法> **企画渉外課**まで、電話により希望日の2か月前までにご相談下さい。

電話：0748-32-5211（代表）

※詳細はホームページでもご覧になれます。

【2021年度 ヴォーリス介護予防教室】ですが、今年度のお申し込みは、定員に達しましたので終了致しました。楽しみにして下さっていた皆様には、誠に申し訳ございません。

地域療養支援部受付

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養し生活を送って頂けるようサポートします！

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院、開業医の皆様からの受診、入院依頼

お気軽にご相談ください。 ※部屋は正面玄関入って左側にございます。

T E L (0748) 32-5221 / F A X (0748) 36-5412

【人間ドック、健診についてのお問い合わせ】

医事課 2 番窓口にお越し頂くか、お電話（0748-36-5467）下さい。

※ 受付時間：月～土曜日 13：00～17：00（祝祭日は除く）

〒523-8523 滋賀県近江八幡市北之庄町492

電話：0748-32-5211（代表）

FAX：0748-32-2152（代表）

＊シャトル（無料送迎）バスあります。

●編集後記●

表紙の写真、赤色の彼岸花の花言葉の一つ、「また会う日を楽しみに」。病と向き合う友人と、10年後、‘○○祝い’を開催するという約束をし、日々、その日の様子を思い描いています。どうか皆様の想いが届きますように。願いが叶いますように。

【編集・発行】 公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院 企画渉外課

公益財団法人 近江兄弟社 ヴォーリス記念病院